

請願第27号	平成27年9月1日受理
付託委員会	総務常任委員会
件名	第4次総合計画後期基本計画に位置づけた八千代台地区再整備計画策定に関する件
紹介議員	緑川利行議員 山口 勇 議員 林 隆文議員 原 弘志 議員
請願要旨	<p>八千代台は昭和30年千葉県住宅協会（後に千葉県住宅供給公社）の初事業として宅地開発が開始された住宅団地発祥の地です。翌31年八千代台駅の開業に伴って開発が続き、昭和40年代の日本経済高度成長期には人口増も目覚ましく、この地は若者であふれ活気に満ちていました。しかし、その後58年経過した現状では、少子高齢化の波がこの地にも押し寄せ、町内では空き家がふえ続ける一方、住民の高齢化に伴い貧困率も上昇している様子が肌を通して感じられます。</p> <p>この結果、駅西口商店会も2年前に解散してしまい、建物は歯抜け状態で跡地の多くは駐車場として使用されています。八千代台東地区でも希望通り商店会はすでに解散しています。このまま手をこまねいて放置すれば、今後まちの荒廃がさらに加速するとともに、高齢化と貧困化がさらに進み、行政の福祉予算要求も年とともに増大することが予想できるところであります。</p> <p>このような状態を少しでも早くとめるべく、八千代台地区自治会連合会の専門部会である八千代台地区再建検討委員会（委員長：大久保義夫）では、昨年5月秋葉市長様宛てに「八千代台地区再建設提言・要望書」を提出させていただいたところであります。</p> <p>これに対し、本年の1月に、要望書に対する回答書を受け取りました。趣旨は現在八千代市で進められている「公共施設等総合管理計画」との整合性を図りつつ、市の財政状況を市民と情報共有し市民との意見交換を通じて検討するとのことでした。</p> <p>この検討を進めていただくに当たり、国が進める地方創生の政策にのっとり補助金の支給を受けて地域の再開発を進めるのも一案です。また地域の再開発を大規模化してPFI、PPPなどの民間資本を活用するのも一案ではないかと考えられます。</p> <p>八千代市で名前発祥の地となった、八千代台地区がこのように何の手だても打たずに無為無策の中に衰退していくことに住民一同ざんきの念を強く抱いて</p>

おります。

つきましては、第4次総合計画後期基本計画策定に当たり、下記事項を請願いたします。

#### 記

1. 八千代市第4次総合計画後期基本計画（平成28年から5年間）に、「八千代台地区の再整備計画策定」を位置づけること。
2. 再整備計画策定に当たっては、関連団体及び住民等の意見も聞きながら再整備を推進すること。
3. なお、再整備計画の策定に際しては、八千代台地区の将来を見据えたビジョンを描き、住み続けたい八千代台地域となるよう、ビジョンに沿った計画的なまちづくりを推進すること。
  - (1) コンパクトシティ構想を踏まえた公共施設の集約化や東口駅前通り再整備の推進を図ること。
  - (2) 京成線八千代台駅の高架化の推進。
  - (3) 八千代台の東と西を結ぶ道路整備によるまちの活性化。
  - (4) PFI等の民間活力を活用し高層マンションの建設・介護施設・待機児童施設を含めた複合的なまちづくりの推進。
  - (5) 八千代台東第二小学校跡地の有効活用を図ること。